



# 渋谷区議会議員 区政リポート 田中 まさや

No. 672  
2025年  
11月28日



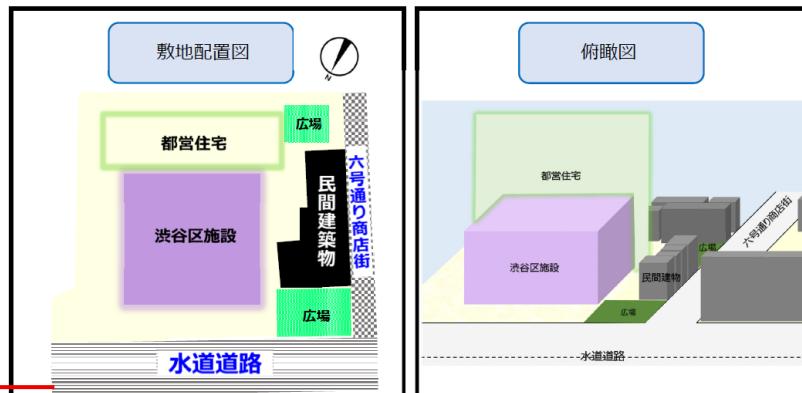
日本共産党渋谷区議会議員 総務委員  
田中まさや事務所 Tel03-6276-0834  
〒151-0071 渋谷区本町 6-38-8-1A  
ブログ: http://masaya-jcp.blogspot.jp



幡ヶ谷二丁目施設（仮称）  
基本計画（素案）

(仮称) 都営幡ヶ谷原町アパート及び渋谷区施設の整備事業について

## 整備イメージ図



## 4. 新施設のイメージ案

既存施設（幡ヶ谷社会教育館）以上のフロア面積を確保し、機能の更新・充実を図ります。また、「こどものフロア」を新設し、多世代にご利用いただける施設を目指します

階層	フロアコンセプト	詳細
1階	こどものフロア	親子で楽しめるフロアです。 こども図書館（※）のほか、こどもの遊び場となるプレイパークや創作エリアを設置します。
2階	文化・交流のフロア	文化・交流が出来るフロアです。 幡ヶ谷社会教育館（現施設）の後継機能のほか、アンケートでニーズの多かった予約なしで利用できるフリースペースも設けます。
3階	学び・音楽のフロア	学習や音楽活動が出来るフロアです。 大・小の学習室に加え、防音設備・舞台を備えた音楽室を設けます。
4階	スポーツのフロア	スポーツ活動が出来るフロアです。 体育室は現施設よりも広い空間を確保し、これまでより多様な種目がご利用いただけます。

※ 笹塚こども図書館を移設します。

(仮称) 都営幡ヶ谷原町アパート及び渋谷区施設の整備事業について

## 事業スケジュール（案）

以下のスケジュールで進めてまいります。

2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)	2031年度 (R13)
幡ヶ谷社会教育館 令和8年6月閉館予定						供用開始
幡ヶ谷社会教育館解体工事			事業用地一體整備工事 ①区分所有建物 [東京都] 都営住宅 [渋谷区] 幡ヶ谷二丁目施設（仮称） ②広場 ③自転車駐車場			
六号通り公園 解体工事の工事ヤードとして使用						
六号通り児童遊園地 自転車駐車場 一體整備の工事ヤードとして 使用						

※ 工期は現時点での想定です。

※ 幡ヶ谷社会教育館の解体工事では六号通り公園敷地及び都営住宅敷地（一部）の使用を想定しています。

※ 施設建設の段階に応じて説明会を開催します。

幡ヶ谷社会教育館と隣接する都営幡ヶ谷原町アパートの一体整備において、幡ヶ谷社会教育館の建替え後の施設などについての計画概要（幡ヶ谷二丁目施設（仮称）基本計画（素案））が、11月13日の総務委員会で報告されました。

計画（素案）は、第4回定期例会に区長が提案している幡ヶ谷社会教育館の廃止条例を前提に具体化したもので、現在の体育室、学習室、音楽室、託児室は「機能の更新・充実」を図つて整備するという言葉を使って、明確に社会教育法に基づく施設で、明確に「後継機能」としています。これは、社会教育活動の推進が目的の施設ではなくなり、だれでも（お金の有無や年齢にかかわらず）社会教育活動に参加できる施設から、お金を払って借りることになります。

幡ヶ谷社会教育館の廃止条例を前に、現在、地域の子どもたちの利用には大きな障害となります。私は、この間の委員会で、社会教育館の存続について、利用者・住民の声を聞き、内に設置されている「笹塚子ども図書館」をこの施設に移設しようとしていることです。笹塚小学校の学区内の遠くに移設すれば、地域の子どもたちの利用には大きな障害となります。

私は、この間の委員会で、社会教育館の存続について、利用者・住民の声を聞き、内に設置されている「笹塚子ども図書館」をこの施設に移設しようとしていることです。笹塚小学校の学区内の遠くに移設すれば、地域の子どもたちの利用には大きな障害となります。

私は、この間の委員会で、社会教育館の存続について、利用者・住民の声を聞き、内に設置されている「笹塚子ども図書館」をこの施設に移設しようとしていることです。笹塚小学校の学区内の遠くに移設すれば、地域の子どもたちの利用には大きな障害となります。

## 5. 基本計画作成スケジュール（案）

- 令和6年7月～10月 地域団体意見交換
- 令和6年11月～12月 利用者及びLINE（ライン）アンケート
- 令和7年12月 基本計画（素案）公表  
パブリック・コメント  
地域意見交換会  
地域団体意見交換
- 令和8年1～2月 地域意見交換会
- 令和8年3月 基本計画完成

利用者・住民の声も聞かず、廃館は許せない

## 幡ヶ谷社会教育館存続、代替施設確保の声を上げよう

て決めるに至ったことから、「実際に聞いたのか」、「だれが決めたのか」と質しました。結局、声は聞かずトップダウンで決まりましたが、それが明らかになりました。

交換会などで、声をあげましょう。